

想定最大規模降雨とは

- ＜想定最大規模降雨とは＞ 社会資本整備審議会（気候変動に適応した治水対策検討小委員会）
- ・気候変動により頻発化・激甚化する水災害に対応するためには**施設の能力を上回る外力の発生を想定**
 - ・近隣の流域等における降雨が同じように発生すると考え、国内を降雨特性が類似するいくつかの地域に分割し、**その地域内で観測された最大となる降雨を用いて想定最大外力を設定**

○降雨の設定方法

江の川流域は降雨特性により山陰に分類



尾関山上流(2,013km²)と同規模で実際に山陰地区で観測された降雨を抽出



平成2年9月洪水(台風19号) 山陰地方で479mm/48時間と降雨量を設定



被害最大となる**江の川の降雨波形**で浸水範囲を検討

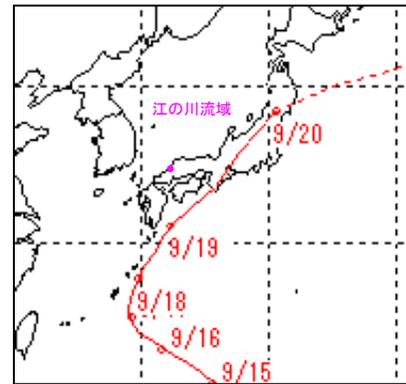
○設定降雨の概要

× 1.28倍

	流域面積	山陰地区 実績最大降雨	江の川 実績最大降雨
	km ²	mm/48時間	mm/48時間
尾関山	2013	479	373 (S47.7)
江津	3874	441	384 (S47.7)

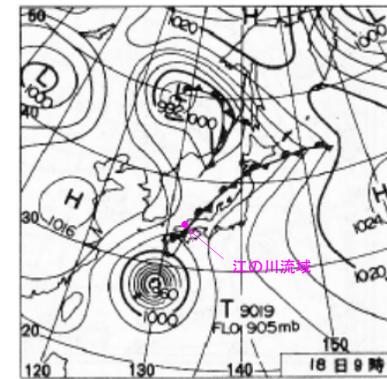
■平成2年9月台風19号洪水
(想定最大降雨)

■H2.9 台風19号経路図※1



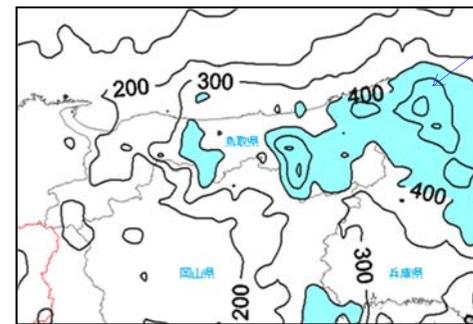
※1: 気象庁HPより

■H2.9.18 AM9:00天気図※1



■H2.9/18 5:00~9/20 4:00の山陰地方雨量分布

48時間雨量が
400mm以上の領域



(単位:mm)

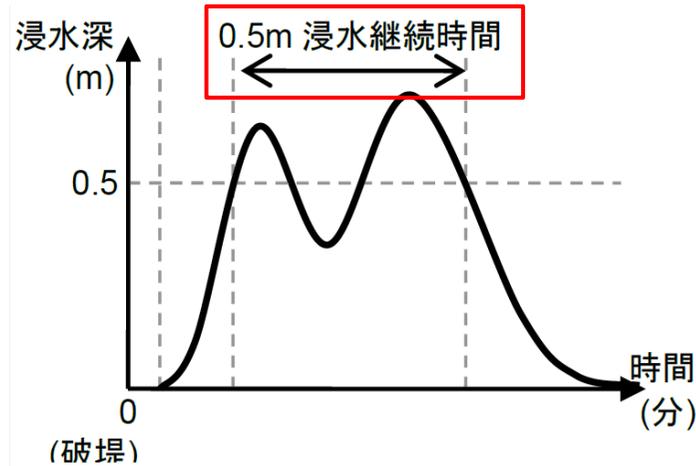


円山川と六方川

※ 解析雨量(レーダ雨量)をもとに作成

浸水継続時間，家屋倒壊危険ゾーンとは

① 浸水継続時間とは



氾濫計算で求めた浸水深が0.5mを越え、0.5mを下回るまでの時間を浸水継続時間としています。

② 氾濫流による家屋倒壊危険ゾーンとは

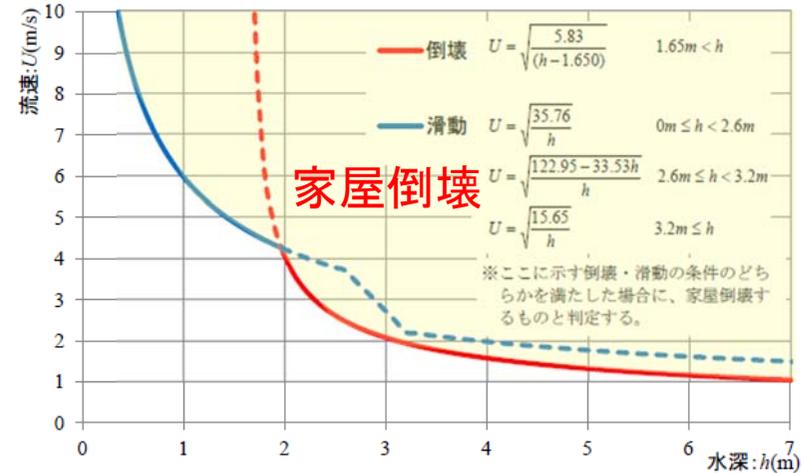
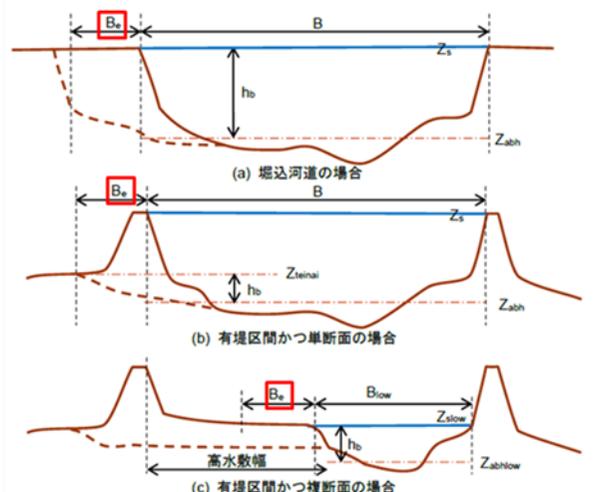


図-4.2-2 木造家屋の倒壊等限界の試算例

氾濫計算で求めた浸水深と流速により、一般的な木造2階建て家屋が倒壊する可能性について示すものです。

③ 河岸浸食による家屋倒壊危険ゾーンとは



洪水流により、地形(河岸・堤防等)が浸食される可能性がある範囲を示すものです。